

UCIワールドチーム含む海外出場チーム決定！ JC常連から初出場チームまで出揃う

2017年10月20日（金）～22日（日）の日程で開催する、アジア最高位の自転車ワンデイロードレース「2017 JAPAN CUP CYCLE ROAD RACE」に出場する海外チームが決定しました。

世界トップカテゴリーのUCIワールドチームからは、昨年のロードレースで優勝を飾ったD・ヴィッレラを擁する「キャノンデル・ドラパック・プロフェッショナル・サイクリング・チーム」、クリテリウムで史上初となる2連覇を果たした別府史之が所属する「トレック・セガフレード」に加え、初出場となる「チーム・ロットNL・ユンボ」が参戦。これまで表彰台を逃している「BMCLレーシングチーム」も3年目で悲願の初優勝を狙います。

また、UCIプロフェッショナルコンチネンタルチームからは、「ニッポ・ヴィーニファンティーニ」と「チーム・ノボ・ノルディスク」の2チーム、UCIコンチネンタルチームからは、3年連続の出場となる「アタッキ・チーム・グスト」が出場します。

今後の出場選手発表にもぜひご期待ください！

<出場決定チーム>

UCIワールドチーム（4チーム）

- CANNONDALE DRAPAC PROFESSIONAL CYCLING TEAM [USA]
- BMC RACING TEAM [USA]
- TEAM LOTTO NL - JUMBO [NED]
- TREK - SEGAFREDO [USA]

UCIプロフェッショナルコンチネンタルチーム（2チーム）

- NIPPO - VINI FANTINI [ITA]
- TEAM - NOVO NORDISK [USA]

UCIコンチネンタルチーム（1チーム）

- ATTAQUE TEAM GUSTO [SLO]

【報道関係者お問い合わせ先】

2017ジャパンカップサイクルロードレース広報事務局（株式会社ジュンプロモーション）担当：小原、川上
TEL: 03-3402-5136 / ケータイ：090-9854-9542（小原） MAIL: yo-suke@junpro.co.jp（小原）

<UCIワールドチーム紹介>

cannondale
drapac PRO CYCLING TEAM

CANNONDALE DRAPAC PROFESSIONAL CYCLING TEAM (CDT/USA)

キャンナデール・ドラパック・プロフェッショナル・サイクリング・チーム(アメリカ)

アメリカの自転車メーカーであるキャンナデールと、オーストラリア発祥の投資会社ドラパックキャピタルパートナーズが共同スポンサーを務めるアメリカ籍チーム。

ジャパンカップの常連で、昨年はロードレースでD・ヴィツレツラが優勝を飾った。今季はツール・ド・フランス第9ステージで勝利を飾ったR・ウランを筆頭に、A・タランスキーやP・ロランなどが勝利を重ねている。

D・ヴィツレツラや新加入のS・ファンマルクなどワンデーレースに強い選手を軸に、連覇を狙った強力なメンバー構成で今年も来日してくれるはずだ。

BMC
racingteam

BMC RACING TEAM (BMC/USA)

BMCLレーシングチーム (アメリカ)

3年連続でのジャパンカップ出場となる、アメリカ籍の強豪チーム。

昨年のジャパンカップではレースはもちろんのこと、プレゼンテーションのステージでも大いに観客を沸かせたのは記憶に新しいところだ。過去にチームTTで何度も重要な勝利を飾っている総合力の高さが強みで、それは今シーズンのUCIワールドツアーキングでも上位につけていることが証明している。

ツール・ド・フランス第9ステージでの落車で負傷したR・ポートが怪我から回復し、熱望していたジャパンカップ出場のために来日を果たすかどうかに注目が集まる。

TEAM Lotto NL
JUMBO

TEAM LOTTO NL - JUMBO (TLJ/NED)

チーム・ロットNL・ユンボ(オランダ)

現在する自転車メーカーで最も古い歴史を持つ、イタリア・ミラノ創業のビアンキをチームバイクとするオランダ籍チームがジャパンカップ初出場。

J・ヴァンデンブロックやS・クライスヴァイク、R・ヘーシクらベテラン勢、ツアー・オブ・カリフォルニア総合優勝のG・ベネットやP・ログリッチなどの中堅、エーススプリンターのD・フルネヴェーヘンやクリテリウム・デュ・ドーフイネ山岳賞のK・パウマンなどの勢いのある若手とタレントぞろい。

ロードレースのエースとしてヘーシク、クリテリウムのエースとしてフルネヴェーヘンが来日してくれることを期待したい。

TREK
Segafredo ZANETTI

TREK - SEGAFREDO(TFS/USA)

トレック・セガフレード(アメリカ)

アメリカの自転車メーカートレックとイタリア大手のコーヒーブランド、セガフレードがスポンサーを務めるアメリカ籍チームが4年連続でジャパンカップに出場。

2015年はロードレースでB・モレマ、クリテリウムで別府史之が優勝を飾り完全優勝を達成、昨年は別府がクリテリウムで連覇を飾るなど、ジャパンカップを大いに盛り上げる活躍を見せている。

今年も別府の出場は濃厚だと思われるが、ツール・ド・フランス第15ステージを制したモレマの3年連続出場はあるか。それともG・ダニエルやM・ペデルセンなど若手選手がニューヒーローになるべく来日するかに注目だ。

<UCIプロフェッショナルコンチネンタルチーム紹介>



NIPPO - VINI FANTINI (NIP/ITA) ニッポ・ヴィーニファンティーニ(イタリア)

長年にわたり世界で戦える日本人選手の育成を行い、現在では2020年の東京五輪でのメダル獲得を目指し、6人の日本人選手が在籍するイタリアと日本の共同チーム。

2008年にジャパンカップを制したD・クネゴ、トップチームでの経験も豊富なA・マランゴニ、I・サンタロミータなどのベテラン選手、今年のツアー・オブ・ジャパン区間3勝のM・カナラやP・デネグリら実力派がそろう。

元全日本チャンピオンの窪木一茂、リオ五輪代表の内間康平、中根英登、若手有望株の小林海らの誰がメンバー入りするかも楽しみだ。



TEAM NOVO NORDISK(TNN/USA) チーム・ノボ・ノルディスク(アメリカ)

選手全員が1型糖尿病患者から構成され、2011年からUCIプロフェッショナルコンチネンタルチームとして活動する。

日本での認知度も年々高くなってきており、今年はサッカー漫画『シュート』で有名な大島司氏のチームを題材にした読み切り漫画が漫画週刊誌に掲載されるなど、さらなる注目を集めている。

昨年のロードレースではチームの精神的支柱であるJ・メヤスが8位に入る活躍を見せた。今年で4度目の出場となるジャパンカップでも日本国内はもとより、世界中の1型糖尿病患者に勇気と希望を与える走りを見せてくれるに違いない。

<UCIコンチネンタルチーム紹介>



ATTAQUE TEAM GUSTO(ATG/SLO) アタッキ・チーム・グスト(スロベニア)

世界的自転車メーカーを有する台湾において、カーボンフレーム第2世代として評価を高めるグストをスポンサーに、2014年からコンチネンタルチームとして活動。

今年はチーム登録がスロベニアになり、アジアはもとよりヨーロッパへも活動の幅を広げている。そのため、選手も台湾、オーストラリア、スロベニア、アメリカ、ポーランド、カザフスタン、ドイツと多彩。

今年初開催となったツール・ド・とちぎで初代王者となったB・ヒル、ツール・ド・熊野プロローグで勝利を飾ったS・サジノク、ツール・ド・フィリピン山岳賞のM・ボクトらを中心に今年も積極的な走りに期待したい。

【報道関係者お問い合わせ先】

2017ジャパンカップサイクルロードレース広報事務局（株式会社ジュンプロモーション）担当：小原、川上
TEL: 03-3402-5136 / ケータイ：090-9854-9542（小原） MAIL: yo-suke@junpro.co.jp（小原）